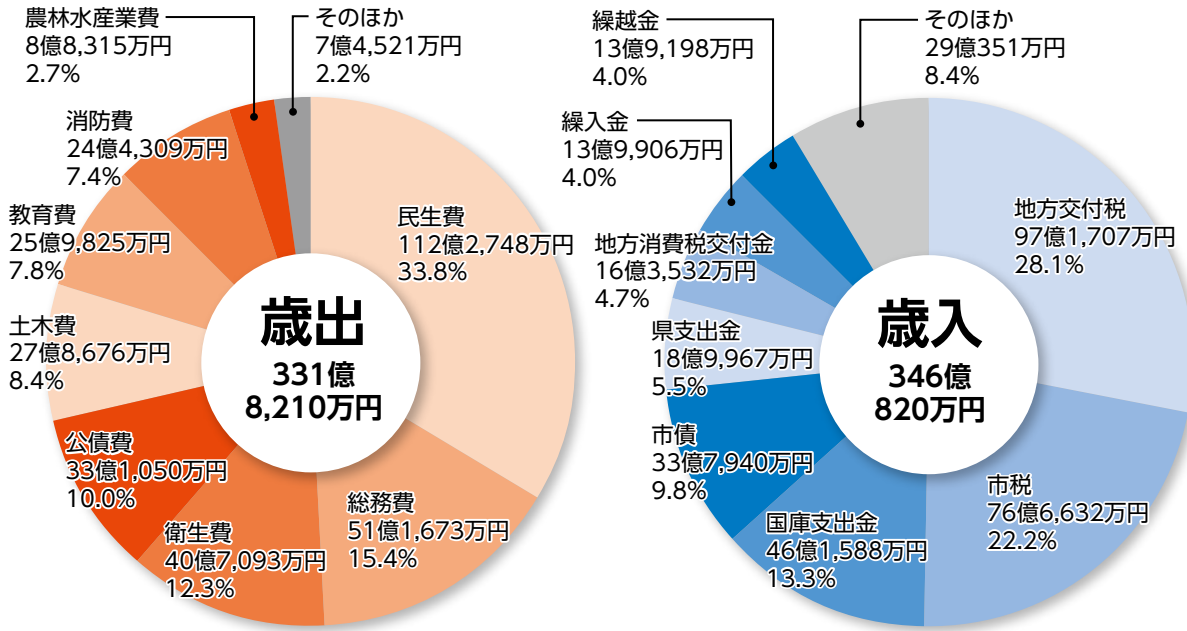


令和6年度決算の公表

令和6年度一般会計決算

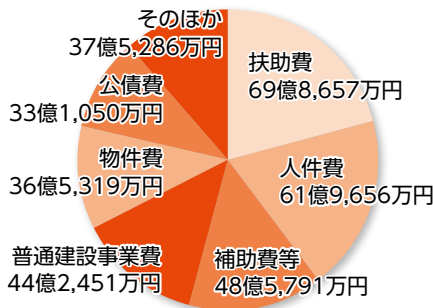


市民1人当りに使われたお金
53万9千円
(前年度比 +6.9%)

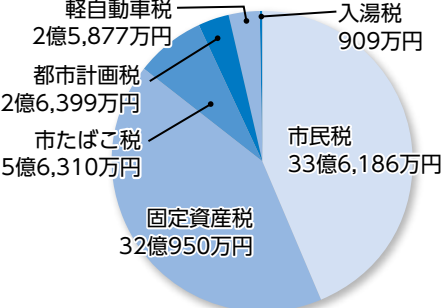
市民1人当たりが負担した市税
12万5千円
(前年度比 ▲0.8%)

人口 61,510人
(前年度比 ▲770人)
(令和7年3月31日現在)

性質別歳出の内訳



市税の内訳



※各数値は表示単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合があります。

歳出用語の解説

民生費…児童、高齢者、障がいのある人などの社会福祉にかかる経費
総務費…庁舎管理や税金の徴収、住民票などの発行にかかる経費
衛生費…健康増進や疾病予防、ごみ処理や環境保全、旭中央病院への負担金などにかかる経費
公債費…事業を行うために市が借り入れたお金の返済にかかる経費
土木費…道路や公園などの整備や維持管理にかかる経費
教育費…学校教育、生涯学習、スポーツ振興などの教育行政にかかる経費
消防費…消防や防災にかかる経費
農林水産業費…農業や水産業などの振興にかかる経費
そのほか…議会の運営、商工業・観光の振興や就労支援などにかかる経費

目的税の使い道

都市計画税
公園や街路の整備、公共下水道などの都市計画事業に活用

入湯税
観光施設の整備や観光振興、消防施設の整備などに活用

問い合わせ先
財政課 財政班

☎ 62・5316

一般会計決算

令和6年度一般会計の決算は、歳入346億820万円、歳出331億820万円、繰越金13億9,198万円、繰入金13億9,906万円、繰入金の差引額14億2,610万円から翌年度に繰り越すべき財源1億5,457万円を控除した実質収支額は、12億7,153万円となりました。

皆さんが納めた税金などの使い道や、市の財産、市が借りているお金はどのくらいになったかなどを知ってもらうため、令和6年度の決算を公表します。



※決算書や財務書類などは、市ホームページで確認できます。

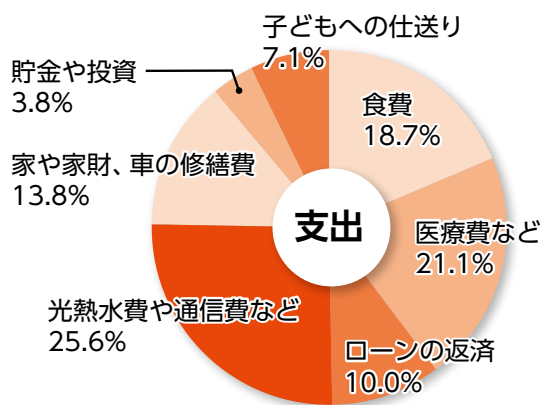
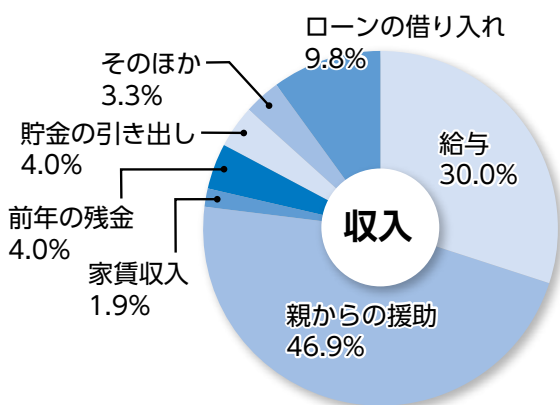
市の決算を家計に置き換えてみると

一般会計の決算を年収536万円*の家計に置き換えてみました。

※令和6年国民生活基礎調査の1世帯当たりの平均所得金額を参考に算出。



収 入		支 出	
給与 (市税、地方譲与税、交付金)	161万円 (▲5万円)	食費 (人件費)※1	96万円 (▲1万円)
親からの援助 (地方交付税、国庫・県支出金)	251万円 (▲14万円)	医療費など (扶助費)※2	108万円 (1万円)
家賃収入 (分担金、負担金、使用料、手数料、財産収入など)	10万円 (▲1万円)	ローンの返済 (公債費)※3	51万円 (▲2万円)
前年の残金 (繰越金)	22万円 (▲1万円)	光熱水費や通信費など (物件費、補助費等)※4、※5	132万円 (▲8万円)
貯金の引き出し (繰入金)	22万円 (5万円)	家や家財、車の修繕費 (維持補修費、普通建設事業費など)※6	71万円 (13万円)
その他 (寄附金、諸収入)	18万円 (▲1万円)	貯金や投資 (積立金、投資及び出資金など)※7	20万円 (同額)
ローンの借り入れ (市債)	52万円 (17万円)	子どもへの仕送り (繰出金)※8	36万円 (▲3万円)
合 計	536万円	合 計	514万円



- ※1 人件費…職員の給与や議員報酬など
- ※2 扶助費…生活保護、障がい者支援、医療費助成、児童手当の給付などに使ったお金
- ※3 公債費…国や金融機関から借りたお金の返済に使ったお金
- ※4 物件費…光熱水費、消耗品費、業務委託料など
- ※5 補助費等…各種団体への補助金や負担金など
- ※6 維持補修費、普通建設事業費…道路や公園、学校など公共施設の建設や改修などに使ったお金
- ※7 積立金…市の貯金(基金)に積み立てたお金
- ※8 繰出金…特別会計の歳入を補うために使ったお金

令和6年度も健全な財政運営を維持

赤字や資金不足なし

二つの比率で健全度をチェック

地方公共団体の財政破綻を防ぐための健全度チェックと、財政状況をより明らかにするため「健全化判断比率」と「資金不足比率」の算定・公表が義務付けられています。

●健全化判断比率

チェックする指標には、赤字額、借金の返済割合、将来への負担などがあります。これらの

●資金不足比率

公営企業の資金不足額を料金

指標が早期健全化基準を上回ると、破綻への危険信号がともる

「財政健全化団体」になり、財政再生基準を上回った場合は、企業の倒産状態と同じ「財政再生団体」となります。

令和6年度の決算に赤字はなく、全ての指標で国が示す早期健全化基準を大きく下回りました(表①)。

収入の規模と比較して、経営状況の深刻度を表す指標です。

令和6年度も公営企業会計(水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業)で「資金不足額なし」となり、経営健全化基準の20%を大きく下回りました。

市債(市が借りているお金)は有利な地方債で

市では、お金を借りようとする際「実質公債費比率」や「将来負担比率」が高くないよう、地方交付税算入(国が借金返済額の一定額を交付税で配慮する)のある有利な地方債を選んでいます(表②)。

一般会計決算における主な事業

事業名	決算額
電算システム運用事業	3億5,255万円
定額減税調整給付金給付事業	5億 553万円
児童手当給付事業	9億 306万円
保育所統合整備事業	6億7,045万円
感染症予防対策事業	1億8,432万円
環境衛生事務費	6億5,459万円
新規就農総合支援事業	2,391万円
園芸生産強化支援事業	4,616万円
観光イベント事業	2,503万円
蛇園南地区排水路整備事業	2億 678万円
飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業	3億5,271万円
消防庁舎整備事業	6億5,696万円
防災行政無線等整備事業	5億4,617万円
スポーツ振興事業	2,327万円
学校給食センター運営費	5億3,894万円

特別会計の決算

病院事業債管理特別会計	歳入	30億7,412万円
	歳出	30億7,412万円
国民健康保険事業特別会計(事業勘定)	歳入	78億3,267万円
	歳出	77億5,724万円
国民健康保険事業特別会計(施設勘定)	歳入	7,283万円
	歳出	6,285万円
後期高齢者医療特別会計	歳入	8億8,335万円
	歳出	8億5,993万円
介護保険事業特別会計	歳入	58億 100万円
	歳出	56億4,867万円

公営企業会計の決算

水道事業会計	収益的収入	16億5,603万円
	収益的支出	14億1,501万円
	資本的収入	2億3,648万円
	資本的支出	4億8,879万円
公共下水道事業会計	収益的収入	5億8,667万円
	収益的支出	5億1,107万円
	資本的収入	1億9,015万円
	資本的支出	3億 7万円
農業集落排水事業会計	収益的収入	8,889万円
	収益的支出	6,494万円
	資本的収入	2,049万円
	資本的支出	3,003万円

表①：健全化判断比率

指標	算定結果	早期健全化基準	財政再生基準	指標の説明
実質赤字比率	赤字額なし	12.56%	20.0%	一般会計などで、どの程度の赤字があるかを示すもの
連結実質赤字比率	赤字額なし	17.56%	30.0%	市全体で、どの程度の赤字があるかを示すもの
実質公債費比率	9.8%	25.0%	35.0%	市債の返済などに、どの程度の負担が見込まれるかを示すもの
将来負担比率	なし	350.0%		将来、どの程度の負担が見込まれているかを示すもの

表②：市債の現在高と市の実質負担額

